



2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.4

Fuji GT 300km RACE

RACE REPORT

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3



VELOREX



RACING WITH FERRARI



2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.4

Fuji GT 300km RACE

RACE REPORT

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3

大会概要

- 大会名称：2026AUTOBACS SUPER GT Round 4 Fuji GT 300km RACE
- 開催日：2026年8月1日（土）公式予選、2日（日）決勝
- 会場：富士スピードウェイ（静岡県駿東郡小山町中日向694）
- 同日開催：2026年FIA-F4選手権シリーズ第5戦・第6戦
- 主催：富士スピードウェイ株式会社 / FISCOクラブ（FISCO-C） / 株式会社GTアソシエーション
- 認定：株式会社GTアソシエーション
- 公認：国際自動車連盟（FIA） / 一般社団法人日本自動車連盟（JAF）
- 後援：経済産業省/国土交通省/自由民主党モータースポーツ振興議員連盟/静岡県小山町/御殿場市/裾野市/公益社団法人静岡県観光協会/一般社団法人小山町観光協会/一般社団法人御殿場市観光協会/一般社団法人裾野市観光協会/小山町モータースポーツ協力会/静岡朝日テレビ





2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.4

Fuji GT 300km RACE

RACE REPORT

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3

◆ 参戦体制

■ ドライバー



片山 義章
YOSHIAKI KATAYAMA

生年月日 1993年11月13日
出身地 愛知県
身長 168cm
体重 69.3kg
血液型 RH+ O



ニクラス クルッテン
NIKLAS KRUETTEN

生年月日 2002年10月20日
出身地 ドイツ
身長 180cm
体重 78kg
血液型 RH+A

■ チーム体制

チーム名： VELOREX
車両名： UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3
カーナンバー： 6
タイヤ： 横浜ゴム株式会社
ドライバー： 片山 義章 / ニクラス・クルッテン
エントラント代表： 片山 義章
チーム監督： 小倉 啓悟
広報兼マネージャー： 塩田 裕子
レースアンバサダー： YUYU ・ AIKA (VELOREX アンバサダーfrom CYBERJAPN)
ゆづ (VELOREX アンバサダーfrom TONE)

■ レースアンバサダー



YUYU



AIKA



ゆづ





2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.4

Fuji GT 300km RACE

RACE REPORT

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3

◆ 予 選

天候 晴れ

コース状況 ドライ

気温 32℃ (GT300クラスQ1開始時)

路面温度 45℃ (GT300クラスQ1開始時)

予選開始 14時20分 (GT300クラスQ1-A組開始)



フェラーリ296GT3・EVO投入のVELOREX、見事予選3位をゲット！

Team LeMansは昨年度より正式にエントラント名をVELOREX に変更し、昨年に引き続き、FERRARI 296 GT3を投入してSUPER GT GT300クラスに参戦している。チームは本大会からさらに戦闘力を高め、空力面とクーリング面を改良した最新型のFERRARI 296 GT3 EVOを投入することを決定し、毎戦熾烈なバトルが展開されるGT300クラスでの勝利を狙う。ドライバーに関しては第1ドライバー片山義章を継続し、第2ドライバーにドイツ出身のニクラス・クルッテン選手を新たに起用。今大会で4戦目となり、ふたりのドライバーの意思疎通は良好で、更なる高みを目指している。またエンジニアリング体制もより強化を図り、若手メカニックの登用や経験豊富なマネージャーの加入で勝利を目指すためのアグレッシブかつ細やかな体制を構築。今年は片山義章がエントラント代表も兼任し、2025シーズンを上回る活躍を目指す。タイヤはこれまでどおりヨコハマタイヤを装着する。

今シーズンのSUPER GTでは、予選方式は昨年同様のノックアウト方式が採用され、GT300クラスの予選はグループA、グループBの2組にわけられ10分間で予選Q1が実施される。予選Q2へは各組それぞれ上位9台が進出となり、合計18台での予選Q2に挑む。予選順位はQ2のタイム順で決定され、19位以下はQ1で最も速いタイムを出した組の10番手が予選19位となり、以降遅い方の組の上位と交互に順位が振り分けられる。またGT300クラスは29台が参加する激戦となるため、昨年よりポイント獲得可能な順位を15位までと拡大。一方でトップ10までのポイントは1位25ポイントにはじまり、それぞれ一昨年より5ポイント増となった。それにより、これまでも増して10位から15、16位の争いが激しいものとなる。なお、ポールポジションにも1点が与えられる。GT300クラスは高得点順に7戦の合計でタイトルが決定される。(延期のマレーシア大会は最終戦で代替開催)

#6 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI

予選結果：3位 (予選Q1:5位 / 片山選手：1分37秒988 / 予選Q2:3位 / ニクラス選手：1分36秒808)

熊本地震でお亡くなりになった方々への追悼の意味で、サーキット全体が黙とうを捧げ、午前10時30分から公式練習がスタートした。今回VELOREXは空力面とクーリング面で改良されたEVO仕様のマシンを投入し、前戦の雪辱を晴らすべくニクラスがコースイン。4周目に1分38秒231をマークし、その時点での3番手タイムを刻むとチーム全員が手応えを感じていた。片山義章に交代し、コンスタントに好タイムで周回をこなし、28周して5番手で公式練習を終えた。マシンのバランスも良く、気温や路面温度への微調整で予選に臨むこととなった。午後の予選は14時20分から始まり、UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARIはQ1グループAに片山義章が出走。力強い走りでも5周目に1分37秒988をマークし、5番手で予選Q2への進出を決めた。片山のアドバイスを受けたニクラスは、リヤのダウンフォースを低減させ、最高速の伸びと高速コーナーでのアンダーステアをアジャストし、予選Q2に出走。1分36秒808までタイムを削り、見事決勝3番手グリッドを確保した。





2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.4

Fuji GT 300km RACE

RACE REPORT

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3

◆ 決 勝

天候 雨/曇り
コース状況 ドライ
気温 32℃ (スタート時)
路面温度 38℃ (スタート時)
決勝レース開始 13時30分
(正式スタート時刻 13時30分00秒)
レース予定走行距離 300km 66周
(正式フィニッシュ時刻 17時53分36秒345)



予選3番手からスタート。不安定な天候に翻弄されるも、貴重なポイントを獲得。

8月2日の決勝日、富士スピードウェイは朝から30℃を超える真夏の暑さで、予選、決勝を通じた観客数は前年度107.8%増の56400人という盛況ぶりだった。12時からのウォームアップは直前に一瞬雨が降ったもののすぐに乾き、チームは短い時間の中でウェットタイヤを2セット皮むきし、ドライ用タイヤでバランスを確認して万全を尽くした。ふたりのドライバーは9周をこなして8番手となる1分39秒141をマークし、自信を深めた。

スターティンググリッドにマシンを並べた段階で一時的な雨が降り、コースコンディションはウェットとなったが、フォーメーションラップ直前に雨は止み、強い日差しが出始めた。スタートドライバーの片山は、一旦はウェットタイヤに交換したが、直前にドライ用タイヤに戻し、安全のためセーフティカー先導のスタートとなる決勝レースに臨むこととした。

セーフティカーは5周目に退去し、決勝レースが本格的にリスタートした直後、ホームストレート上でGT500クラスの3台のマシンが絡み、1台が大きく宙を舞うアクシデントが発生、レースは赤旗中断となった。片山はアクシデントを僅かの差で避け、無傷で戻ってきた。

午後2時15分、セーフティカー先導のもと5周目からのレースが再開され、片山は3番手をキープしながらセーフティカーの退去を待ち、10周目から再びバトルがスタートした。片山は前の2台を追うものの、途中、小雨も降りだし路面温度が予想外に低くなってしまい、ペースがいまひとつ上がらない。そんな中、後方からペースの速いマシンに追われて激しい攻防を続けながら6番手で25周目にピットインし、タイヤ交換とドライバー交代を実施。ニクラスがコースに復帰した時には26番手までドロップしてしまっていたが、そこからVELOREXは追い上げを開始する。ニクラスはコンスタントなペースで走り続け、6号車UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARIは9位でチェッカーを受けた。

#6 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI (片山選手 & ニクラス選手)

決勝結果：9位





2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.4

Fuji GT 300km RACE

RACE REPORT

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3

◆コメント



片山 義章 選手のコメント

今回、新型フェラーリ296GT3 EVOを投入しました。シェイクダウンから好感触で、富士に向けて期待はしていましたが、予想通りのパフォーマンスを発揮してくれ、公式練習、予選の流れも良く、固めのタイヤで予選3番手を獲得できました。土曜日まではすべてが順調だったのに、決勝当日は天候に翻弄されてしまいましたね。スタート直前に雨が降ったり止んだりして路面が濡れたり乾いたりし、路面温度が期待していた以上に低かったのが厳しかったです。スタート直後のアクシデントは前車に接近していたのであまり見えず、ステアリングを右に切ったらいきなりクラッシュしたマシンが目の前に現れたので瞬時に左に避けました。再スタート後も序盤は悪くないペースだったのですが、再び雨が降ってきてブレーキがロックするなど、厳しい攻防が続きました。ニクラスも頑張ってくれましたが、今日は自分たちの日ではなかったですが、ポイント獲得は大きかったと思います。



ニクラス・クルッテン選手のコメント

公式練習からマシンのバランスはとても良く、予選で3番手を獲得できたのは、Q1を突破した直後の片山選手のアドバイスのおかげです。彼の走行データとアドバイスから、ストレートの最高速が足らなかった点と高速コーナーでのアンダーステアを改善するためにリヤのダウンフォースを調整しました。そのアジャストがまさにピッタリはまりました。

土曜日の夜にベッドに入るときには、明日の優勝は狙えると信じていました。しかし決勝は期待とは裏腹の結果に終わってしまい、フラストレーションがたまっています。片山選手の前半のペースは悪くなかったので、ドライ路面になった僕のステイントで取り返せると考えていましたが、ピット作業がうまくいったにもかかわらず、コースインした時点でかなり順位が落ちていて、あまりにも多くのマシンを抜かなければいけなかったのが、予想以上にペースが上がらませんでした。次のレースは鈴鹿なので、絶対に悔しさを晴らします。



小倉 啓悟 監督コメント

予想外にレース結果が悪かったですね。9位でポイントを獲得できたことは大きかったにせよ、自分たちが望んでいた順位ではありませんでした。新型のフェラーリ296GT3 EVOは空力性能とクーリング性能がアップしており、パフォーマンスは上がっています。そのフェラーリ3台のトップになれなかったのも悔しいですし、予選結果が結果に結びつかなかったことも、天候や路面状況の変化がチョイスしたタイヤにマッチしていなかった面があるにせよ、データを分析して次に備えなければなりません。ふたりのドライバーは良く頑張ってくれたと思います。チームもピット作業で頑張り、ミスなくマシンを送り出してくれました。そういった意味では、これまで積み重ねてきたことの成果が出ていると思うのですが、VELOREXとしてはあくまで勝利にこだわりたいので、満足はしていません。次の鈴鹿は得意なサーキットでもありますし、優勝を狙って頑張って準備を進めていく所存です。





2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.4

Fuji GT 300km RACE

RACE REPORT

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3

UNI-ROBO

BLUEGRASS

WestCore

OIRC

ニチアス

TONE



zahren

MIDTOWN BBQ
STEAK & SMOKEHOUSE

EVER
CORPORATION

DOBOT

SEIHA



カトー機械株式会社

オカダキンジ

ヒロ デンタル クリニック

CLIMAX
SOFT99 autoservice

ASAHI 朝日金属株式会社



AOYAMA
ELEVATOR

中部総合監査法人

SANDISK™

AOI
TRUST
Co., Ltd.

MAITY



H&F

K KANETAKE

森吉物流グループ

JOTO DIRECT

慶知電線株式会社

見田工作

H&A
Human & ARTS

SASAHARA

4EAST

Digi-Tec
INTECNO

株式会社プロデュース

KOWA
株式会社 康和産業

TAKSEIDOBOKU Co., Ltd.

KYO-EI
INDUSTRIAL CORPORATION

三浦電気株式会社
株式会社ナガラ
ホリオ工業株式会社
有限会社ます徳
東急建設株式会社
株式会社フクヤマ
有限会社野田商店
株式会社ウツノ
トーカイテクニカ株式会社
有限会社アイビー産業
大成ロテック株式会社
株式会社山陽セフティ
株式会社オーアンドケー
中部焼結販売株式会社
森工業株式会社
旭テクノプラント株式会社
山陽事務機株式会社
有限会社源森
株式会社キャムテック
有限会社満成鉄工所
旭日株式会社
トヨコンロジスティクス株式会社
浅野産業株式会社
株式会社トラストワーク
鍛冶島工業株式会社
株式会社モダン・プロ

株式会社みずしまモータース
株式会社SANWA
有限会社国司電器
田淵塗装
めぐみファーム
株式會社カンガイ
株式会社永遠輪
株式会社大下商店
永井建設株式会社

VELOREX



RACING WITH FERRARI